

エネルギーも地域自立の時代

環境への取り組みを
事業に生かす!

特集

環境問題について考えるとき、その核心にあるのはやはりエネルギーのこと。化石燃料に代わる新しいエネルギー“バイオマス”の事業に情熱を注いでおられる「日本バイオマス開発株式会社」の鈴木誠社長さまに、バイオマス事業の現状と将来について語っていただきました。

日本バイオマス開発株式会社

代表取締役 **鈴木 誠** さま

**日本は国土面積のうち森林が70%程度を占めています
まさに、バイオマスに適した国と言えるわけです**

—鈴木社長とIPP事業の出会いについてお教えいただけますか。

以前、総合商社に勤めていたときに、カリフォルニアで風力発電のIPP事業、独立系発電事業に携わりました。商社がビジネスとして手掛けたほとんど最初の事例だったと思います。その後1991年から6年間ほどアメリカに駐在し、10件ほどIPP事業を担当しました。

そして96年に帰国したら、日本にもIPPの制度ができていて、一般の民間企業も電力事業に参入できるようになっていたんですね。もともと私は事業を起こしたいと思っていましたし、IPPは商社時代からの経験や人脈がありましたので、これで起業しようと思うようになりました。

ちょうどそんな頃に、バイオマスという分野も出始めました。また、その後、RPS法という法律もできて、経済性だけでなく、環境にいい自然エネルギーの価値が認められるようになったんです。バイオマス事業はビジネスになる、自分でもやってみようと思うようになりましたね。

—企業理念を拝見すると「国益」という言葉が書かれています。社長には、事業としての利益追求にとどまらない社会貢献へのご意志が強く感じられます。

食の安全ということが最近叫ばれていますが、食と同様にエネルギーも国家、国民にとって非常に重要なものです。電気が足りないからといって、石油を輸入し、停止していた火力発電所を再開したりしています。化石燃料に依存している限り、化石資源に乏しいわが国のエネルギー不安は根本的には解消されないのではな



いでしょうか。日本は国土面積のうち森林が70%程度を占めていて、バイオマスに適した国なんです。現状、これがほとんど使われていないわけですから、やはりバイオマスによるエネルギー開発を進めていくべきだと思っています。

—IPPの事業を始められて、どのような苦労がありましたか？

—環境というテーマがますますクローズアップされていますが、今後の中小企業経営者はどのように環境問題に対応していけばいいのでしょうか。

経営者にとって、環境というものは今後避けられない課題だと思います。どんな業種・会社でも、環境に反するような企業活動はますます制限されていくでしょうね。だからといって、環境問題は企業にとつてマイナスだという考え方はまさに時代遅れだと思います。今後は、この避けて通れない時代の要請に対し、どれだけ工夫・努力し、自社の活動なり事業なりに取り込んでいけるかということが問われていくと思いますね。

(※)山形県の二号機では、サクランボの枝からできた木質チップを不完全燃焼させてガスを発生させ、そのガスによってエンジンを動かし発電している。

です。

山形県のサクランボの枝(※)はまさに良い例ですね。今まで農家の方たちは処理に困って、溜まったただ野焼きにしていたのです。野焼きはCO₂の排出にもなりませんし、火災事故にもなりかねません。だったら、その枝を集めてバイオマスの施設で処理すれば、CO₂を出すことなくエネルギーをつくれることになり、ひいては、そのサクランボのブランドイメージ向上にもつながるのではないのでしょうか。

—三井住友銀行とのおつきあいはいつからでしょうか？

山形県の二号機を操業した頃から関心をもっていたのだと思います。石川県の二号機の計画にあたって、大きな設備投資を伴うプロジェクトではありましたが、条件面でも合意させていただき、契約にいたることができました。三井住友銀行さん



出力2500キロワットを誇る石川グリーンパワーの発電施設

とはそこからおつきあいにあります。私どもの事業は発展途上であるため、通常の条件ではなかなか融資がかなわないものと認識しています。しかし、環境や社会貢献につながる事業であること、また、将来の採算性なども含めて考慮していただき、高く評価していただきました。今後、も事業の案件数を増やしていきたいと思っていますので、ぜひ引き続きご支援いただきたいですね。

—石川県の二号機は、一号機より大きな発電施設になっているとのことですが。

石川県の宝達志水町の方が二号機の見学に来られて、ぜひ私達の自治体にも進出してもらえないかというお話をいただきました。進出した。進出企業に対する優遇制度などについて、も非常に良い条件をご提示

**これからの時代はエネルギーも地域自立の時代
土地にある原料を活かし、環境にいいエネルギーを！**